大谷社宅の廃屋の一つ。会社はこんな廃屋をつくり出していっては、「老朽化」を口実に立ち退きをせまり、「あとはゴルフ場だ」、とほくそ笑むのだ。

三川鉱でのはなし

▼…「鉱長さんたちゃ、エラかつじゃなあ―。人にものいわすとき、たまにじゃが、机に足ばあげたままいいよらすばい」

という話を、ちょくちょくきき和〝ばいいながら、ハラでは、俺たちは屁のごつも思うとりゃせんます。

（水中で、悩んどらすとかも知れん）

どげんエライさんのことでも、考えさせらるる。口では〝職場のとやな―。

×

三川九分会新聞〝はぐるま〟（NO・八五）から。

姿見

題名なし

港務外来三川　本村　理子

支部長さんから〝姿見〟への投稿をすすめられ、私の生活は一変してしまった。

承諾したあと、後悔と、支部長さんに心配かけてはいけない、という気持とが交錯して、しばらくは心の葛藤がつづく。

「下手でもいい。積極的になれ」、と夫が横からけしかける。

私も、「時間をかけて書けば、いいではないか」、と自分を落ちつけて、「さて、何を書けばいいか」、と思うとまた迷ってしまう。

チラシの裏側を使って、二～三の題名を考え、思いつくまま何枚も鉛筆で埋めてゆく。

炊事しながら。いろいろしながら。

入浴中でも、原稿のまずい箇所を思い出しては、あがってすぐゴムで消したり書き足したり、辞書をひいたり。

清書して見ては、夫に読んでもらい、意見を聞く。

翌日ともなれば、清書したはずの紙が、鉛筆でまた汚れてゆく。

生みの苦しみ。

書く楽しさ。

好きなテレビも、消えてしまった。

静かな部屋で、鉛筆の走る音に満足を感じながら、何日もかかって書きあげたのがこの原稿。

おかげで、私たちに何か得るものを感じ、これからは今の生活を書くことにした。

こういうわけで、書く喜びを教えてくださった支部長さん。ありがとうございました。

×

この欄を、主婦の生活と意見で埋めてゆきましょう。どしどしご投稿を。

労基署へ要請行動

内職主婦の地位向上めざす

三池主婦会

私たち主婦会は、先に行いました内職・パートのブロック懇談会のあとをうけて、さっそく三月十日に、大牟田労働基準監督署へ要請行動をおこしました。

特に今日のインフレ・不況の中では、婦人が一番犠牲を受け、低賃金、不当な労働条件下に立たされるわけですが、今年は〝国際婦人年〟でもあり、婦人の地位の向上、発展、差別撤廃のため、婦人みずからが自覚を高めねばならない、と思います。

塚本署長、古賀監督官に、こちら代表九名（中執七名と三川支部より二名）。交渉は午前中の短い時間ではありましたが、主婦がかかえている低賃金、労働条件の実態を明らかにし、その上にたって、早急に改善のための行政指導をしていただくようにお願いしました。

要請書は次の通りでした。

要請書

「私たち主婦会は去る二月六・八の二日間にわたり、内職・パートの問題についてブロック懇談会を開催し、賃金、労働条件、その他について話し合いました。その結果、内職・パート故に不況の名のもとに無権利、低賃金労働者として、働らかされている実態が悩みとして出されています。つきましては労働者保護の立場から次の事項を善処されるよう強く要請申し上げます。

記

一、時間短縮、週休二日制、全国最賃制（月七万円）の確立を要求致します。なお当面の処置として福岡県包括最賃（一、六一〇円）を守るよう、行政指導をお願いします。

一、有給休暇は健康保持の立場から、完全実施されるよう、行政指導を要請致します。

一、家内労働者の無料健康診断を年二回企業負担で実施するよう要求致します。

一、内職工賃に、税金をかけないようにして下さい。

右の要請について、署側からは誠意のある回答があり、法律の拡大と強化については局―省へ上申し、最低賃金以下の事業所にはさっそく行政指導をする、ことが約束されました。

さらに監督署はいつでも〝マル秘〟で相談・面接に応ずる窓口も開かれていることがわかりました。電話は、三―三九八七番です。

（平川）

九四％が「生活圧迫」

【連合】国民生活センター（経企庁の外郭団体）が三月十一日発表した国民生活動向調査によると最近の物価上昇が生活を、「圧迫している」と答えた人は九四・七％にも達し、八〇％強が生活の不安を訴えている。特に収入、衣、住、生活全般に不満と答えた層が満足層を上回り、生活苦が一段と進行していることを物語っている。自衛手段としては、五五・五％が「ムダ買いせず買ったものは最後まで使う」とトップ、次いで「多少遠くても安い店を選んで買う」が三一・七％

また連合通信は、次のようなことも伝えています。

九日発表のIMF（国際通価基金）国際金融統計によると、消費者物価は依然として世界的に上昇している。昨年十二月の先進工業国の消費者物価平均上昇率は、前年同月比一三・六％。日本は、二一・五％で、十一月（二四・六％）に比べるとやや鈍化しているが、相変らず先進国中ずば抜けた上昇率を示している。

病床にある友へ

三川指導部　町　佳郎

拝啓

三月の暦をそっとめくると、そこに潜んでいる名もない多くの春の草花が、ふくよかな香りを漂わせながら顔を出し、さもうれしそうに話しかけてくるようです。樹々に集うつぼみのふくらみとともに、春の息吹きはもうそこここに感じられる今日この頃です。あなたも毎日元気に養生に努めていることでしょう。

あなたが入院してから、もうかなりの月日が流れました。いろいろの思いに心を動かしながらの入院だったのでしょうが、それもいまでは心の落ちつきとともに、養生に専念していることと思います。入院生活でのある意味での時の潤いは、いろいろの形で意義深いものをもたらすものだといえましょう。日々に流れ去る時の貴重さを、私自身も大切に思わないではいられません。

長い間の持病に苦しめられていたあなたにとっては、いまの入院生活が、私には良かったと思うのです。あなたの持病が、単に一朝一夕で快癒するはずのものではないことは、私にもよくわかります。生き半可な治療ではどうにもならないことを意識しながらも、今後の生活のことを思い、長期の入院生活をためらい続けたあなたの気持は、現在、いろいろの持病に苦しめられている多くの労働者にとっては、理解できると思います。

しかし、長い目で自分の人生を見つめた場合、勇気ある決断は必要なのでしょう。あなたの決断によって惹起する生活のことを思えば、多くの不安と悲しみが襲うのは当然です。現在、その不安と悲しみの中に日々を送っているあなたの家族のことを考えると、何もしてあげられない私の非力を意識しないわけにはいきません。

しかし、現在の、ぎりぎりの生活を送っているわれわれ底辺の労働者にとっては、そのような余裕もあろうはずはなく、むしろそのように不安な日々を送っている傷病者に対する、手当が不当に安いものであることが問題だと思います。安心して入院生活も送れない傷病者の苦しい現実は、いまの多くの労働者が共通して置かれている厳しい実態にほかなりません。

傷病者に対する給付等の問題については、上部組織を中心にして、これまでも闘い続けてきていますが、壁の厚さはやはり否定できません。それだけにもっと大きな力を結集することによって、そのことも不可能ではなくなるように頑張らなくてはなりません。

しかし、日々のそのような生活の中にも、奥さんとともに明るく元気に育っているあなたの子供たちの姿に、私はほほえましさと同時に力強いものを感じるのです。苦しい生活の中にも笑いを絶やさないことこそ、明るい道もやがては開けるものといえましょう。一日も早いあなたの元気な姿を、子供たちは待ちこがれているにちがいありません。

明るい日差しの下で、元気に遊ぶ子供たちを病室の窓から見つめながら、あなたは、自分の子供たちの姿を想い浮べることもしばしばでしょう。一日も早く元気になって、暖かいわが家へ帰ってほしいと思います。

さて、職場のことについても、あなたの立場上、いろいろと心を動かしていることと思いますが、どこの職場でも同じように、何も問題がないということはあり得ません。しかもいまの厳しい職場環境の中では、いろいろの問題をかかえながらも、それぞれに頑張っているのが実態です。でもいまのあなたにはそのことを煩慮するのはいけないと思います。それよりも養生に専念するのが第一です。身体を傷めた鳥も、やがて大空高く自由に飛びまわるためには、それなりの養生が必要なのですから。

あなたがいない職場においても、それぞれが自分自身をかばいながら、たしかなものを求めて日々を頑張っているのです。何も持ち得ないわれわれ労働者にとっては、健康以外に頼るべきものはありません。どうか、しっかり養生して元気な身体になって下さい。あなたの家族一同とともに、その日のくるのを待っています。

今日は朝から良い天気に恵まれ、一日元気に仕事を終えることができました。仕事の合間には、あなたのことも話題になりました。私の心を乗せてこの夕暮れのさわやかな風は、あなたの方へ吹いて行くのでしょうか。

一日も早く確かな喜びがあなたの家族に訪れるよう祈りつつ――

敬具

池畑重富様

同僚の寝静まりたる昼休（やすみ）どき病臥の友に想いを馳せる

希望（のぞみ）ある人生（ひとよ）と思えやがて来る光溢るる良き日待ちつつ